


評価対象年度	平成24年度	施策評価シート	政策	8	施策	19
施策名	19 安心できる地域医療の充実		施策担当 部局	総務部, 保健福祉部		
「宮城の将来ビジョン」における体系	政策名	8 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	評価担当 部局 (作成担当 課室)	保健福祉部 (医療整備課)		

施策の目的 (目標とする宮城の姿)	○ 自治体病院など地域の中核的な病院を中心に必要な医師の確保がなされ、慢性的な医師不足や地域等における医師の偏在が是正されている。 ○ 医療資源の十分な活用により、より身近な地域で患者本位の良質かつ適切な医療サービスが提供されている。 ○ 救急患者への迅速な対応や、大規模災害発生時の対応も見据えた体系的な救急医療体制の整備が着実に進んでいる。 ○ 保健・医療・福祉分野の連携により必要なリハビリテーションサービスなどが提供され、高齢者や障害者等が住み慣れた地域で自立した生活を送っている。 ○ がん診療連携拠点病院を中心に、より高度ながん医療が提供されるとともに、がん患者の生活の質の向上が図られている。	
施策の方向 (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の行動方針)	◇ 全国から県内の自治体病院等への勤務を希望する医師を募集・配置するなど、地域医療体制の整備・充実に向けた着実な医師確保対策を推進する。 ◇ 初期・二次・三次の各救急医療体制を充実するとともに、救急科専門医をはじめ救急医療を担う医師等の育成・確保に取り組む。 ◇ 急性期から回復期、維持期まで一貫性のある総合的なリハビリテーション提供体制の構築に向けた取組を支援するとともに、県リハビリテーション支援センターの充実と関係機関との連携の強化に取り組む。 ◇ より高度で専門的ながん医療提供に向け、がん診療連携拠点病院の機能強化に取り組むとともに、がん患者等の相談支援及び在宅緩和ケア提供体制を整備するなど、総合的ながん対策を推進する。 ◇ 県内医療機関等に従事する看護職の確保を図るとともに、認定看護師の確実な確保とその資質向上を図るため、必要な支援する。	

決算(見込)額 (千円)	年度	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (決算(見込)額)	平成25年度 (決算(見込)額)
	県事業費	7,089,121	10,310,965	-

※決算(見込)額は「宮城の将来ビジョン推進事業」と「取組に関連する宮城県震災復興推進事業」の合計額(再掲分含む)

目標指標等	■達成度 A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」 C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で、判定できない」					
	■達成率(%) フロー型: 実績値 / 目標値 ストック型: (実績値 - 初期値) / (目標値 - 初期値)	初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)
1	県の施策による自治体病院等(県立病院を除く)への医師配置数(人)	23人 (平成20年度)	42人 (平成24年度)	42人 (平成24年度)	A 100.0%	46人 (平成25年度)
2	救急搬送時間(全国順位)(位)	40位 (平成19年)	34位 (平成24年)	40位 (平成24年)	C 0.0%	30位 (平成25年)
3	病院及び介護サービス施設、事業所に従事するリハビリテーション専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)の数(人)	1,100人 (平成18年度)	- (平成 年度)	- (平成 年度)	N -	2,160人 (平成25年度)
4	新規看護職員充足率(%)	67.1% (平成20年度)	77.4% (平成24年度)	79.1% (平成24年度)	A 102.2%	80.0% (平成25年度)
5	認定看護師数(人)	62人 (平成20年度)	- (平成24年度)	172人 (平成24年度)	N -	207人 (平成25年度)

■ 施策評価（原案）	概ね順調
-------------------	-------------

評価の理由	
目標指標等	<ul style="list-style-type: none"> ・一つ目の指標「県の施策による自治体病院等（県立病院を除く）への医師配置数（人）」は、医学生修学資金貸付を利用し義務年限にある医師数の増加等により、目標を達成し、達成度「A」に区分される。 ・二つ目の指標「救急搬送時間（全国順位）（位）」は、救急搬送患者数の増加と医師不足の深刻化により、全国的に搬送時間が長くなってきているため、順位もほぼ横ばいで、達成率0.0%、達成度「C」に区分される。 ・四つ目の指標「新規看護職員充足率（%）」は、病院全体の充足率が90%で、訪問看護ステーション等でも充足率が大きく改善し、達成率102.2%、達成度「A」に区分されるなど、医療従事者の充足に向けて着実に成果が現れているといえるが、依然として地域偏在があり沿岸部や郡部ではその確保が困難となっている。
県民意識	<ul style="list-style-type: none"> ・類似する取組である震災復興の政策2施策1の調査結果を参照すると、高重視群が84.7%、満足群が50.5%と比較的高く、満足度の「わからない」は25.3%と低いことから、施策「安心できる地域医療の確保」は、県民に概ね理解されていると考えられる。 ・満足群・不満群の割合による区分は「I」に該当する。沿岸部と内陸部の割合の差はほとんどない。
社会経済情勢	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療を巡る課題としては少子・高齢化や疾病構造の変化等地域医療を巡る情勢が変化する一方、医師等の医療従事者が不足、偏在するなど厳しい状況にある。 ・平成22年1月には、救急医療や医師確保など地域医療の課題を解決するための地域医療再生計画を策定し、医師確保や救急医療の強化に向けた各種事業を実施してきているところである。 ・東日本大震災により沿岸部を中心に地域医療は甚大な被害を受けたことから、その復旧・復興に向けて第二期地域医療再生計画及び地域医療復興計画を平成24年2月に策定し、関連する諸事業を実施している。
事業の成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・「県の施策による自治体病院等への医師配置」では、医学生修学資金貸付を利用し義務年限にある医師数など政策的に配置できる医師の数は着実に増加しており、被災県の地域医療の実情に対する関心の高まりなどにより、採用には至らなかったが、ドクターバンク医師の問い合わせ件数が増加するなど、概ね順調に推移していると考えられる。 ・「新規看護職員充足率」では、看護師確保総合対策事業により質の高い看護職員の養成、県内施設への就職促進、勤務環境改善による定着化・離職防止、潜在している有資格者の復職支援など、各種課題に総合的パッケージとして取り組むことにより、看護職員の確実な確保が図られている。

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

施策を推進する上での課題と対応方針（原案）	
課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災による津波被害が甚大だった沿岸部ほど、救急医療など充実した地域医療体制が求められている。 ・しかし、医師、看護師などの医療系人材について、地域、診療科等による偏在が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師確保や救急医療対策など地域医療の諸課題を解決するために策定された地域医療再生計画の各事業を着実に実施するとともに、地域医療整備の基本となる医療系人材の確保に向けて引き続き効果的な事業を実施していく。

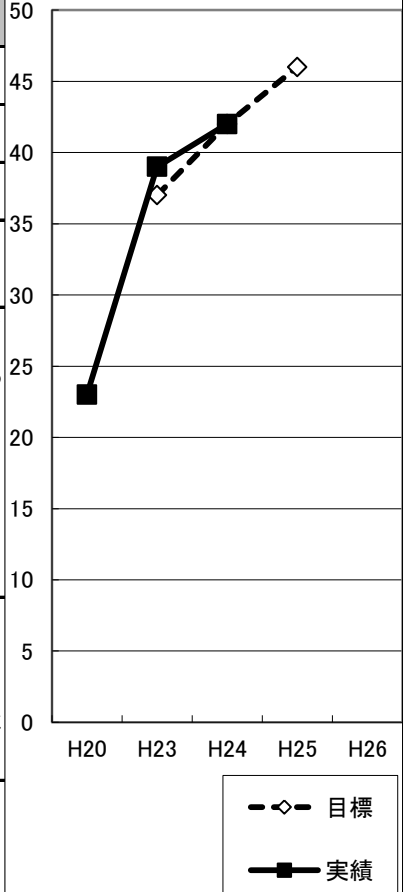
評価対象年度 平成24年度

政策 8 施策 19

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型:実績値/目標値 ストック型:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)

1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	1	県の施策による自治体病院等(県立病院を除く)への医師配置数(人) [フロー型]	指標測定年度	H20	H23	H24	H25
目標値		-	37	42	46	-	
1	・自治体病院に対して県の施策(医学生修学資金貸付・自治医科大・ドクターバンク等)による政策的医師配置した医師数	実績値	23	39	42	-	-
		達成率	-	105.4%	100.0%	-	-
目標値の設定根拠	<p>・県が進めている医療政策の大きな方向性は、第二次・第三次救急・周産期医療等の政策的な医療を担う地域の中核的病院の医師確保等を優先し、これらの病院と周辺医療機関との連携体制の強化によって地域医療提供体制の充実を図るものであり、県の医師確保施策の成果が反映される「県の施策による自治体病院等(県立病院を除く)への医師配置数」としたものである。</p> <p>・平成25年度の達成目標については、市町村等が設置する自治体病院から県に報告されている求人医師数(常勤医師分)が90人内外で推移していることを踏まえ、当該求人医師数の1/2に相当する46人まで増員を目指すものとしており、今後、地域医療再生基金を活用して医師確保対策の充実を図り、目標を達成していく。</p>						
実績値の分析	<p>・被災後一年間は震災による被災県の地域医療の実情に対する関心の高まりなどによりドクターバンク医師の問い合わせ件数が増えたものの、平成24年度の取組による採用実績が無かった。</p> <p>・このほか医学部定員の継続的な増加に対応し貸付枠を拡大してきた医学生修学資金貸付を利用し義務年限にある医師数など政策的に配置できる医師の数は着実に増加している。</p>						
全国平均値や近隣他県等との比較	-						



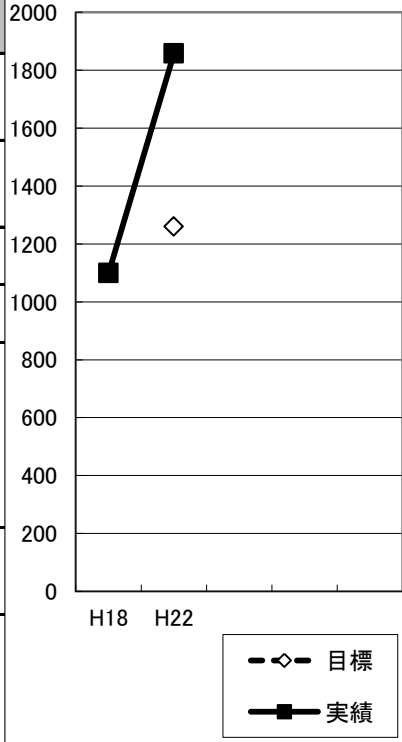
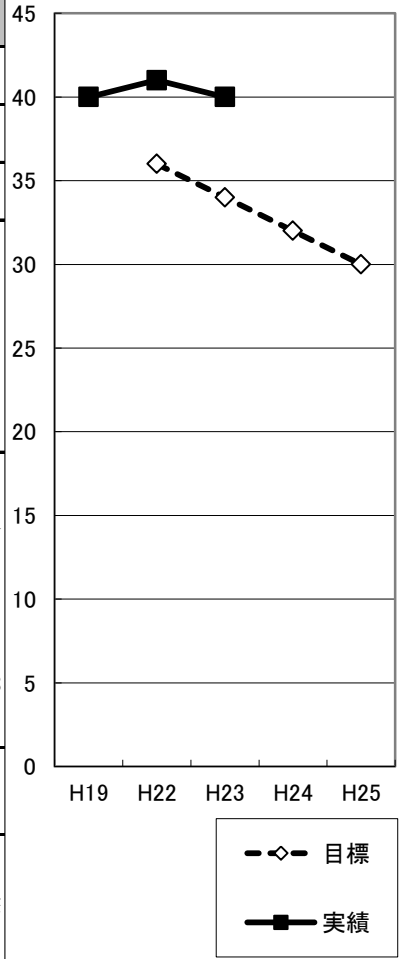
評価対象年度 平成24年度

政策 8 施策 19

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型:実績値/目標値 ストック型:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)

2	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	救急搬送時間(全国順位) (位) [フロー型]	指標測定年度	H19	H22	H23	H24	H25
	目標値	-	36	34	32	30	
	実績値	40	41	40	-	-	
	達成率	-	-25.0%	0.0%	-	-	
目標値の設定根拠	<p>・救急搬送時間は、救急医療体制の充実状況を示す象徴的な指標であり、県民の関心も高く、発表されるごとにマスコミにも大きく取り上げられている。</p> <p>・本来であれば、時間そのものを目標指標等に設定すべきであるが、救急搬送人員数の増加及び救急医療を担う医療機関の減少により、全国的な傾向として年々時間が長くなっており、本県も同様である。</p> <p>・このため、時間そのものの改善を図ることは困難な状況にあることから、時間の伸びを全国平均よりも抑え、全国順位を上昇させることを目標指標とすることが適当であると判断したものである。</p> <p>・目標値の設定に当たっては、指標測定年以前の推移(平成17年:46位、平成18年:43位、平成19年:40位)から毎年全国順位を2~4位上昇させるものとした。</p>						
実績値の分析	<p>・救急搬送患者数が増加する一方で、医師不足が深刻化していることから、全国的に搬送時間は長くなってきている。そのため順位についてもほぼ横ばいの状況が続いている。</p>						
全国平均値や近隣他県等との比較	<p>・東北各県の順位としては、北東北の青森・岩手・秋田がそれぞれ、(15位、42位、22位)、南東北の山形・福島が(18位、43位)となっている、搬送時間の短縮は、地域医療の構造的な問題解決が必要なものもあり劇的な改善がみられず、従前から大きな順位の変動はみられない。</p>						
3	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	病院及び介護サービス施設、事業所に従事するリハビリテーション専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)の数(人) [フロー型]	指標測定年度	H18	H22	-	H24	-
	目標値	-	1,260	-	2,160	-	
	実績値	1,100	1,858	-	-	-	
	達成率	-	147.5%	-	-	-	
目標値の設定根拠	<p>①介護サービス・施設事業所に従事するリハビリテーション専門職の数については、平成20年度から平成22年度の従事者数の推移と施設数の推移を基に目標を設定。</p> <p>②病院に従事するリハビリテーション専門職の数については、平成20年度から平成22年度の従事者数の推移と基準取得病院数の推移を基に目標を設定。</p> <p>上記、①・②を合計し平成25年度の目標値を設定した。</p>						
実績値の分析	<p>・平成20年度以降、介護サービス・施設事業所及びリハ基準取得病院数の増加が20%を超える水準であったため従事者が増加したものと考えられる。</p>						
全国平均値や近隣他県等との比較	<p>・平成23年度実績値においても、全国平均(人口10万人当たりの就業者数)の80%程度に過ぎず、平成25年度の目標値で90%程度となるものである。</p>						



評価対象年度 平成24年度

政策 8 施策 19

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型:実績値/目標値 ストック型:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)

4	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	新規看護職員充足率(%) [フロー型]	指標測定年度	H20	H22	H24	H25	-
		目標値	-	72.3	77.4	80.0	-
	毎年実施されている「看護職員需要調査」において、病院・診療所等での採用予定者に対する確保者数の割合	実績値	67.1	60.2	79.1	-	-
達成率		-	83.3%	102.2%	-	-	

目標値の設定根拠

- 本県の看護職員数に関しては、人口10万対の看護師数も全国平均より下回っている状況が続いており(保健師、助産師、准看護師については全国平均を上回っている)、看護職員の充足率を評価する指標が必要である。
- 毎年実施されている「看護職員需要調査」において、病院・診療所等での採用予定者の確保状況を調査しており、各施設が必要とする職員数が充足できているかを表す指標ととらえることができる。

実績値の分析

- 平成24年度については、病院全体の充足率が90%と高率であることに加え、これまで充足率が低い水準で推移していた訪問看護ステーション、介護保険施設等でも充足率が大きく改善したことから、全体の充足率を押し上げた状況となっている。しかし、依然として地域偏在があり沿岸部や郡部では確保が困難となっている。

全国平均値や近隣他県等との比較

-

5	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	認定看護師数(人) [フロー型]	指標測定年度	H20	H23	H24	H25	-
		目標値	-	118	-	207	-
	(社)日本看護協会の認定する資格で、現在21分野の資格を保有する看護師の数	実績値	62	143	172	-	-
達成率		-	121.2%	-	-	-	

目標値の設定根拠

- 医療の高度化・専門化により、質の高い看護サービスの提供が求められている。
- 看護の質を高める上で認定看護師の配置による、治療期間の短縮、他職員へのコンサルテーション等その効果は高く、「皮膚・排泄ケア」分野のみならず、他分野においても確保していくことが質の高い看護サービス提供につながると考えられる。
- 第1期計画では「皮膚・排泄ケア」分野の認定看護師数を指標としたが、第2期計画では分野を特定せず認定看護師総数を指標とする。
- 受講者の伸びから目標年度を前倒して実現できる見込みであることから、直近の平均的な伸び率を基に平成25年度目標値を再設定している。

実績値の分析

- 平成20年度から「宮城認定看護師スクール」を宮城大学に開設し、「皮膚・排泄ケア」分野における認定看護師養成を開始し、毎年順調に受講者を重ねている。
- キャリアアップを目指す看護師が増えているに伴い、受講する認定看護師分野も拡大してきている。

全国平均値や近隣他県等との比較

-

評価対象年度	平成24年度
--------	--------

政策	8	施策	19
----	---	----	----

宮城の将来ビジョン推進事業											
評価番号	事業番号	事業名	平成24年度決算見込額(千円)	事業の状況							
		事業主体等	特記事項	事業概要			平成24年度の実施状況・成果				
1	1	宮城県ドクターバンク事業	5,755	事業概要			平成24年度の実施状況・成果				
				医師不足及び地域・診療科による偏在に対応し、地域医療を担う市町村立及び一部事務組合の自治体病院・診療所に勤務する医師を確保する。			<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター・パンフを作成・配布するとともに、学会等におけるPR活動を行った。 ・被災地における地域医療の復興に関する関心が高まりを受け多くの問い合わせがあったものの、採用実績はなかった。 ・翌年度以降の採用に向け、数名の医師と面談を行った。 				
		保健福祉部 医療整備課	震災復興 2①②	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
妥当	成果があった	効率的	維持	803	1,585	5,755	-				
2	2	医学生修学資金等貸付事業	115,800	事業概要			平成24年度の実施状況・成果				
				県内の自治体病院で勤務する意志を有する医学生等を対象に修学資金等を貸し付ける。			<ul style="list-style-type: none"> ・チラシを作成し、全国の医科系大学等への配布を行った。 ・貸付者の募集を行い28貸付者を決定した。 ・これまで修学資金制度を利用した医師19人の勤務指定をおこなった。 				
		保健福祉部 医療整備課		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
妥当	成果があった	効率的	維持	106,400	103,084	115,800	-				
3	3	女性医師支援事業	6,497	事業概要			平成24年度の実施状況・成果				
				増加する女性医師が地域医療の担い手として活躍できるよう、保育サービスや復職研修等に関する情報提供・相談対応、女性が働きやすい勤務環境を整備する医療機関への支援等の事業を行う。			<ul style="list-style-type: none"> ・県医師会への委託により運営されている女性医師支援センターを中心に県内各地でセミナーを開催した。 				
		保健福祉部 医療整備課		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
妥当	成果があった	効率的	維持	5,700	12,064	6,497	-				
4	4	医師育成機構運営事業	31,455	事業概要			平成24年度の実施状況・成果				
				東北大学、医師会、医療機関、県で構成する「宮城県医師育成機構」において医師のキャリア形成支援等を通じ、医師にとって魅力的な環境を構築し、宮城県への医師招へい、定着を促進する。			<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研修医を対象とした合同研修会を開催し99人の研修医が参加した。 ・東北大学学生集いの開催し22人が参集した。 ・育成機構の取組を紹介するホームページを設置した。 				
		保健福祉部 医療整備課		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	700	14,681	31,455	-				

5	5	地域医療研修センター整備・運営支援事業	14,000	事業概要				平成24年度の実施状況・成果											
				東北大学による地域開放型医学研修施設の整備・運営を支援し、医療従事者の技術向上や離職者の円滑な復職等を図る。				・東北大学医学部に隣接した施設に地域開放型医学研修施設の運営を行った。											
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)											
保健福祉部	医療整備課	①必要性				②有効性				③効率性				次年度の方向性					
		妥当				ある程度成果があった				概ね効率的				維持					
		H22				H23				H24				H25					
				-				113,055				14,000				-			
6	6	地域医療医師登録紹介事業	114	事業概要				平成24年度の実施状況・成果											
				「宮城県地域医療医師無料職業紹介所」を設置し、勤務の斡旋を希望する医師に対し自治体病院等を紹介する。				・被災地における地域医療の復興に関する関心が高まりを受け問い合わせが増加し、女川町の地域医療センターに1人を斡旋した。											
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)											
保健福祉部	医療整備課	①必要性				②有効性				③効率性				次年度の方向性					
		妥当				成果があった				効率的				維持					
		H22				H23				H24				H25					
				-				-				114				-			
7	7	二次救急体制機能強化事業	11,150	事業概要				平成24年度の実施状況・成果											
				救急医療に従事する勤務医等に手当を支払う医療機関に対して支援を行うとともに、二次救急医療機関の医師を対象とした専門領域研修を実施し、受入機能の強化を図る。				・救急勤務医支援事業として5つの病院に対して手当の一部の補助を行った。 ・重症外傷及び小児の2分野における救急科専門領域研修を実施した。											
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)											
保健福祉部	医療整備課	①必要性				②有効性				③効率性				次年度の方向性					
		妥当				ある程度成果があった				効率的				維持					
		H22				H23				H24				H25					
				-				11,503				11,150				-			
8	9	受入困難事案患者受入医療機関支援事業	52,942	事業概要				平成24年度の実施状況・成果											
				救急搬送の受入先選定が困難となる事案について、受入医療機関に対して支援を行い、救急搬送の受入体制の強化を図る。				・時間外に年間120件以上の受入困難事案に対応した22の医療機関に対する補助を行った。											
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)											
保健福祉部	医療整備課	①必要性				②有効性				③効率性				次年度の方向性					
		妥当				成果があった				効率的				維持					
		H22				H23				H24				H25					
				-				45,778				52,942				-			
9	10	救急患者退院コーディネーター事業	30,412	事業概要				平成24年度の実施状況・成果											
				県の救急患者退院コーディネーターと連携して、退院調整を行うコーディネーターを配置する医療機関に対して支援を行うとともに、急性期から慢性期まで、それぞれの機能を担う医療機関の連携システムを構築し、救急搬送の受入体制の強化を図る。				・退院調整を行う退院コーディネーターを配置した13の医療機関に対する補助を行った。											
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)											
保健福祉部	医療整備課	①必要性				②有効性				③効率性				次年度の方向性					
		妥当				成果があった				効率的				維持					
		H22				H23				H24				H25					
				-				36,507				30,412				-			

10	11	精神障害者救急医療体制整備事業	78,997	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				震災に伴いPTSD等の精神疾患の発症者の増加や精神状態の悪化等が懸念されることから、従前の精神科救急医療体制の充実強化を図り、緊急に精神科医療を必要とする県民に対して、精神症状や身体合併症に応じた適切な医療を提供する。				・通年夜間は精神医療センターが対応し、休日等昼間は25病院の輪番制により2病院ずつ対応を行った。 通年夜間164件(外来96件,入院68件) 休日等昼間124件(外来91件,入院33件)			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
	保健福祉部	障害福祉課	震災復興 2①②	妥当	成果があった	概ね効率的	拡充	83,329	80,673	78,997	-
11	12	回復期リハビリテーション医療体制整備推進事業	2,000	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				回復期リハビリテーション病棟の地域的な偏在を解消するため、市町村等が行う設置に向けた取組を支援する。				・栗原市立栗原中央病院にリハビリテーション専門職2人を確保するための経費の一部を補助した。 ・病院内で、回復期リハビリテーション病棟の開設のための準備が進められている。			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
	保健福祉部	健康推進課		妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	廃止	-	2,000	2,000	-
12	15	地域リハビリテーション推進強化事業	9,677	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				障害者や高齢者が住み慣れた地域で生涯にわたって生き生きとして生活を送るために、全県において総合的かつ一貫性を持ったリハビリテーションサービスが提供されるよう一次圏域(市町村域)、二次圏域(高齢者福祉圏域)、三次圏域(全県域)の三層体制による地域リハビリテーション推進体制の充実を図る。				・圏域体制整備事業 7圏域 ・市町村事業への技術的支援 409回 ・専門スタッフの派遣 50回 ・各種研修会の開催 19回 ・市町村事業への支援のための多職種によるネットワーク形成や人材育成を行ったことにより、市町村におけるリハサービス提供の向上に繋がった。			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
	保健福祉部	健康推進課		妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	-	-	9,677	-
13	16	救急医療再生事業	1,277,097	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				地域医療再生計画に基づき、救急科専門医の確保等、救急医療の再生に必要な取組を行う。				・救急医療に従事する医療従事者が習得が必要なBLS(初期救命処置)、ACLS(二次救命処置)などの知識・実技の研修を3回実施し、38名の医師・看護師が受講した。			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
	保健福祉部	医療整備課		妥当	成果があった	概ね効率的	維持	81,621	40,781	1,277,097	-
14	18	がん対策総合推進事業	1,346,653	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				「宮城県がん対策推進計画」に基づき、がん予防及び検診受診率の向上、専門医師の育成確保、緩和ケアの提供、がんに関する情報提供・相談機能の充実及びがん登録の推進など、総合的ながん対策の推進に取り組む。				・がん診療連携拠点病院への助成(4病院) ・患者会立ち上げ支援 ・がん予防講演会及びパネル展(9月) ・地域がん登録の実施(年間) ・がん総合支援センターの運営(年間) ・子宮頸がん等予防接種事業への助成(35市町村)			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
	保健福祉部	疾病・感染症対策室	取組20に再掲	妥当	成果があった	概ね効率的	拡充	2,375,865	2,801,152	1,346,653	-

15	21	看護師確保総合対策事業	18,863	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				質の高い看護職員の養成, 県内施設への就職促進, 勤務環境改善による定着化・離職防止, 潜在している有資格者の復職支援など, 各種課題に総合的パッケージとして取り組むことにより, 看護職員の確実な確保を図る。				<ul style="list-style-type: none"> ・新人看護職員向けの研修, 多施設合同研修事業の実施を支援・実施した。 ・潜在看護職員の復職のための研修を行った。 ・就労環境完全支援として労働局との共催にて研修会を実施した。 			
	保健福祉部 医療整備課			事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	19,017	18,863	-	
16	23	認定看護師養成スクール助成事業	5,700	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				安全で質の高い看護サービス提供に向け, 知識・技術がより訓練された看護職員の確保に取り組む。				<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県看護協会が宮城大学に委託して実施した認定看護師スクールに対する支援を行った。 ・20人が修了している。 ・認定看護師資格取得に対する支援を行った。 			
	保健福祉部 医療整備課			事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	5,482	5,700	-	
決算(見込)額計			3,007,112								
決算(見込)額計(再掲分除き)			3,007,112								

評価対象年度	平成24年度
--------	--------

政策	8	施策	19
----	---	----	----

取組に関連する宮城県震災復興推進事業

評価番号	事業番号	事業名	平成24年度 決算見込額 (千円)	事業の状況							
		事業主体等	特記事項	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
		事業概要		平成24年度の実施状況・成果							
1	1	リハビリテーション支援事業	48,306	生活不活発病や障害の予防, 住環境の改善, 福祉用具の調整等を行うため, リハビリテーション専門職等による相談・指導を支援する。また, 被災者が健康づくり事業を実施するためのリーダー等の養成を支援する。				・集団運動指導 712日 ・リハビリテーション相談会 520日 ・戸別訪問 644日 ・被災市町の実施する健康づくりや介護予防事業をリハビリテーション専門職が支援する形の事業として, 継続的な実施が求められている。			
		保健福祉部 健康推進課	取組20に再掲 震災復興 2①①	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	年度別決算(見込)額(千円)			
			妥当	成果があった	概ね効率的	維持	H22	H23	H24	H25	
				-	25,559	48,306	-				
2	3	薬局整備事業	-	震災により甚大な被害を受けた被災地における地域医療の復興のため, 仮設住宅近辺における医療機関の整備に合わせて薬局の整備を支援する。また, 地域の復興計画に沿って, 各地域に拠点薬局の整備を支援し, 適切な医薬品の供給体制を図る。				・実施主体となる県薬剤師会における計画等の確認調整実施			
		保健福祉部 薬務課	震災復興 2①②	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	年度別決算(見込)額(千円)			
			妥当	ある程度成果があった	-	拡充	H22	H23	H24	H25	
				-	20,000	-	-				
3	4	医療施設等災害復旧支援事業	950,300	被災した医療提供機能の早期回復と施設等の復旧を図るため, 施設開設者に対して復旧等費用を補助する。				・医療施設災害復旧事業の対象外となっている民間医療機関の復旧支援として, 医療機関・薬局に対して復旧費の補助を実施した。			
		保健福祉部 医療整備課	震災復興 2①②	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	年度別決算(見込)額(千円)			
			妥当	成果があった	効率的	維持	H22	H23	H24	H25	
				-	1,549,700	950,300	-				
4	5	医療施設災害復旧事業	56,988	被災した医療機関等の復旧費用を補助する。				・震災により被災した医療機関1件の復旧費の補助を実施した。			
		保健福祉部 医療整備課	震災復興 2①②	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	年度別決算(見込)額(千円)			
			妥当	成果があった	効率的	維持	H22	H23	H24	H25	
				-	13,930	56,988	-				
5	6	救急医療情報センター運営事業	84,268	大規模災害時に各医療機関が診療の継続に必要とする物資や人的支援について速やかに把握し, その支援体制を確保するため, その情報システムを整備する。				・携帯電話からの災害時情報入力機能を追加した。			
		保健福祉部 医療整備課	震災復興 2①②	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	年度別決算(見込)額(千円)			
			妥当	成果があった	概ね効率的	維持	H22	H23	H24	H25	
				-	83,415	84,268	-				

6	7	医療従事者確保・流出防止支援事業	631,000	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		被災地における地域医療の円滑な復興を図るため、被災地医療機関の再建、復旧までの間、当該医療機関に勤務していた医療従事者を雇用する医療機関等に対し財政的支援を行うことにより、地域の医療従事者の流出を防止する。				・求職中の医療従事者を医療の提供や地域の保健指導等のために病院や仮施設（診療所・薬局等）で雇用する事業に対する委託を行い、約185人の医療従事者の雇用を創出した。					
		保健福祉部 医療整備課	震災復興 2①②	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	概ね効率的	廃止	-	177,331	631,000	-
7	8	気仙沼地域医療施設復興事業	183,845	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		地域医療復興計画に基づく気仙沼地域における医療施設等の新築への補助など復興の取組に対する支援を行う。				・気仙沼市立病院の移転新築に係る補助をおこなった。					
		保健福祉部 医療整備課	震災復興 2①②	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	-	183,845	-
8	9	石巻地域医療施設復興事業	384,946	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		地域医療復興計画に基づく石巻地域における医療施設等の新築への補助など復興の取組に対する支援を行う。				・石巻赤十字病院の救急医療体制の整備に係る補助を行った。 ・石巻市立病院の新築に係る補助を行った。					
		保健福祉部 医療整備課	震災復興 2①②	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	-	386,946	-
9	10	仙台地域医療施設復興事業	891,749	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		地域医療復興計画に基づく仙台地域における医療施設等の新築への補助など復興の取組に対する支援を行う。				・災害拠点病院、高次救急病院の機能強化等に係る補助を行った。					
		保健福祉部 医療整備課	震災復興 2①②	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	-	891,749	-
10	11	人材確保・養成事業	1,660,941	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		地域医療復興計画に基づき医療人材確保に向けた各種対策を実施する。				・全壊した医療機関の再建に向けての医療従事者の流出防止、他県からの支援受入に係る経費に対する助成を行った。 ・修学資金貸付枠を拡充（一般枠10人、東北大学枠5人）するために医師育成機構に貸付原資を基金化した。					
		保健福祉部 医療整備課	震災復興 2①②	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	-	1,660,941	-

11	12	ICT(情報通信技術)を活用した医療連携構築事業	2,411,510	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				医療従事者の不足が懸念される中、切れ目のない医療の提供体制を推進するため、ICTを活用した地域医療連携システムを構築することにより、病院、診療所、福祉施設、在宅介護事業者等の連携強化・情報共有を図り、子どもから高齢者までだれもが、県内どこでも安心して医療が受けられる体制を構築する。				<ul style="list-style-type: none"> ・「みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会」が一般社団法人化した。 ・ネットワークの要件定義をおこない具体的なシステム構築作業を進めたが、システム構築の検討について、各医療機関、関係団体からの意見集約に時間を費やしたことからシステム構築が遅れた。また、自立的運営のためには、今後、一定以上の参加施設の確保が必要である。 			
	保健福祉部 医療整備課	震災復興 2①③	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
		妥当	ある程度成果があった	課題有	維持	-	6,452	2,411,510	-		
決算(見込)額計		7,303,853									
決算(見込)額計(再掲分除き)		7,303,853									